

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターでいじい		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な障害に対する知識や支援方法についてのスキル	レポート形式での支援提供も行い、施設で広く共有していただいている。	施設でも取り入れやすい内容の助言を心がけていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問の回数、日時の調整。安定した訪問頻度の確保。	要望の強い施設への訪問を優先すると、回数や頻度が下がってしまう施設も出てくる。児童発達支援も行っているため、そちらの人員を確保すると、訪問に出られる日時が限られてくる。	訪問支援が出来る人員確保と人材育成。随時、施設と保護者の両方のニーズと緊急性の把握が出来るよう、小まめな情報共有を常に心がけていきたい。
2			
3			